災害ボランティアセンター中核スタッフ　養成概要

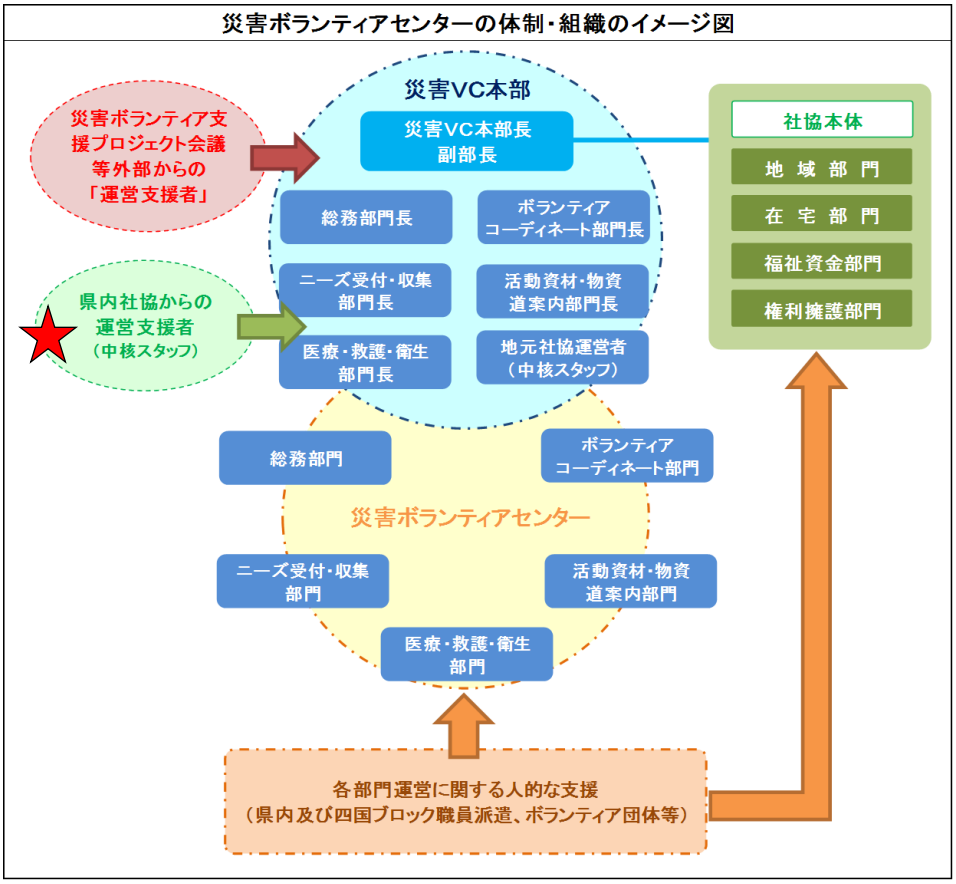
愛媛県ボランティア・市民活動センター／愛媛県社会福祉協議会では、市町災害ボランティアセンターの担い手となる市町社協職員を対象に、下記のような役割を担うため、専門的な心構えや経験知を備えた人材＝**「災害ボランティアセンター中核スタッフ」**を養成しています。

役割１

市町災害ボランティアセンター設置・運営の中核を担い、大規模災害時には県災害ボランティアセンターと連携し、広域支援の連絡調整や被災地のプログラム開発、復興プロセスまでのアドバイス等を行う災害ボランティアセンター中核スタッフとしての役割。

【中核スタッフの役割・立ち位置】

災害ボランティアセンター全体を見渡し、その運営や活動の方向性について、地元社協と一緒になって考え、アドバイスをしていく役割であり、災害ボランティアセンターの１つのセクションに配置されるスタッフとは別の立場になります。（下記図参照）



役割２

近隣の市町において大規模な災害が発生した際に現場へ赴き、地元社協災害ボランティアセンターの運営支援にあたる役割。

役割３

平時における各地域での防災・減災活動に関する研修の講師・ファシリテーターや、局内の災害時対応体制の整備を主体的に進めるスーパーバイザーとしての役割。

※災害時を想定した取り組みや仕組みづくりを考えることは、平時における個別支援の視点や地域づくりのスキルも求められるため、コミュニティソーシャルワーク実践者としてのスキルアップにもつながります。